

浜田市長は早く公約実現を!

市民の声を広げて、暮らしを守る公約を実現させよう

市長は決断し
国民健康保険税の大幅引き下げを

猿渡(えんど) 久子市議は「一般会計からの繰り入れを増やし、国保税の大幅引き下げを」と何度も迫りました。しかし、浜田市長は「高額所得者の国保税は限度額まで引き上げる」と値上げは言うものの、引き下げの率や額については明言しないという、これまでの答弁をくり返すばかりでし。

国保税は
もたぎり引き下げ額はまだまだ不明

国保税は

ムダをはぶき、一般会計からの繰り入れも検討して、国保税の負担を軽減します。(3月議会での浜田市長の答弁)

選挙前の3月議会、浜田市長は「国民健康保険税の負担軽減」「住宅リフォーム助成制度の導入」などを公約しながら、いまだに具体的な提案もしていません。日本共産党の平野ふみかつ、えんど久子の両市議は12月議会、市民の暮らしを守るために、早く公約を実現するよう強く迫りました。

長野県上田市では即決即断
1億円の予算で12億円の仕事が
345社の業者に回りました。

平野市議が視察した上田市では、1億円のうち3千万円は国の交付金を活用しております。平野市議は「財源は国のお金も使えますよ」と、別府市の担当者にも伝えました。また上田市長は12月議会に答弁して1月には実施という即決ぶり。別府市は3月議会に答弁しているのに実施はいまだに検討中。あまりに優柔不断すぎます。

住宅リフォーム助成制度は「不況対策の特効薬」として全国に広がっています。市当局も再三にわたって「経済効果は大きい」と認めてきました。9月議会ではえんど市議の質問に対して、阿南副市長が「新年度に向けて協議したい」と答弁していたのです。

住宅リフォーム助成制度は？
積極的に制度の導入に向けて検討する
(3月議会での清末部長の答弁)

もたぎりが実施時期も内容も
まだまだ「検討中」

12月議会、平野市議が、「国の社会資本総合交付金も活用できる」と具体的に示して新年度での実現を強く求めましたが、市当局は「検討中」という答弁に終始しました。

日本共産党 別府市議団
げんきニュース

発行責任者 平野 文活
別府市石垣西8-2-31
2012.1.5
No.495

あなたのご意見をお寄せください。
TEL.0977-22-6576 FAX.0977-23-6529

別府市議会ホームページで議会の録画が見られます。ぜひご覧ください。

藤ヶ谷ごみ焼却場 数々の疑問

浜田市長は、国保税の負担軽減、住宅リフォーム助成制度などの公約については、いまだに見通しを明らかにしていません。その一方で、新ごみ焼却場への負担金は154億円も出す計画です。日本共産党は「この負担金にこそ行革のメスを入れ、大幅に削減すべき」と主張しました。あらためて、藤ヶ谷ごみ焼却場をめぐる数々の疑問について紹介します。

なぜ? ゴミ減量に逆行?

現在の焼却炉は老朽化しており、建て替えが必要です。日本共産党は、CO2と経費を削減するために、プラスチックごみ(廃プラ)の分別と焼却炉の規模縮小を求めてきました。別府市も当初は、廃プラ分別の計

画を立てていました。ところが別府速見広域圏事務組合(浜田博管理者)が、プラスチックを燃やすという方針を決めたのを受けて別府市も廃プラ分別計画をやめざるをえませんでした。

いきなり、実績もない会社に

現在の焼却炉は三菱重工業が建設し、その運転は30数年間、三菱の関連会社の「九州重環」に随意契約で委託してきました。ところが2010年4月から、いきなり実績もない会社「別府環境エンジニアリング」に変えたのです。広域圏の応募要綱では「2年以上の実績」を条件にしていたにもかかわらずです。

維持管理費も高すぎます

今の施設の維持管理費は年間約7億円。老朽施設のため年間2億円も補修費がかかり、施設内の使用電力も年6千万円が必要です。新しい施設では多額の補修費は不要で、施設内電力も焼却熱を利用した発電でまかないます。すると新施設は年4億4千万円で運営できるはず。なのになぜ、新施設の維持管理費として「日立造船」に年5億9千万円も払うのでしょうか。ちなみに次点で落選した「荏原」の維持管理費の入札価格は、年4億円でした。さらに余剰電力の売電で年間1億円もの収入を日立造船は手にするのです。



説明を受ける平野・えんど両市議 (12/16)

なぜ? 高い会社で建設?

左の表は新ごみ焼却場の入札結果です。日本共産党は「30年間の委託で計算すると日立造船は41億円も高い」と反対しました。市財政も大きな損害です。

【日立造船の入札価格】(落札)	
建設費	98億7000万円
運営維持管理費	88億5390万円

【荏原の入札価格】(次点)	
建設費	114億6894万円
運営維持管理費	60億272万円
※運営維持管理費は15年契約	

トラブル続きのごみ焼却場

1,200トンのゴミが野積み

藤ヶ谷清掃センターには約1200トンものゴミが野積みされています。広域圏事務局は「年末年始にご迷惑をかけますが、ゴミ減量にご協力を」と訴えています。原因は、7月に3号炉、10月に2号炉、11月に1号炉がストップしたからです。あいつぐ故障は、いきなり委託業者を変えたこととの関係はないのでしょうか。

力をあわせて子育て支援を



他にもえんど久子市議は

- ◎障がい者の差別をなくすための別府市条例の実現を
- ◎高齢者・障がい者のためのふれあいゴミ収集の実現を
- ◎観光まちづくり課の役割などについて質問しました。



福祉保健部長は「無縁社会といわれる中で地域の再生・まちづくりは行政の重要な課題。子育て支援の中で児童館・子育て支援センターのあり方・本質は何か

という視点から、積極的に地域とのつながりを持つことは重要な使命だ。親への支援も考えた取り組みを再構築する時期だと考えている」と答弁しました。

地域の再生は重要な課題

えんど久子市議は一般質問で、4歳の男児が命を落とした虐待事件にふれ「このような悲劇を二度とくり返さないため、児童館が地域の子育てネットワークの核としての役割をしっかりと果たしてほしい。地域の力を高めるために行政がどう

いう役割を發揮するか、福祉やまちづくりで共通の課題だ。専門性を高めるため児童厚生員の正職員化も必要では」と質問。世田谷区の児童虐待防止の取組みなどを紹介し、充実を求めました。

虐待の悲劇くり返さないため

選挙がらみの入札疑惑を追及!



別府市では昔から「選挙がらみで仕事をほされた」などと言われてきました。今回、それが公然と実行されたのです。

被告人になった別府市

今年4月以降の学校耐震補強などの市発注工事では、9社のA級業者のうち4社が入札から排除され、ついに別府市が裁判に訴えられる事態となりました。

答弁拒否の浜田市長

平野市議は次のように質問しました。「市長は選挙前の集会で、二度もドスを突き付けた。市の仕事はいらぬということでしょうと発言した。この発言はどのような意味か」これに対して市は「裁判中だから答弁できない」と答弁を拒否したのです。

負けたら税金で罰金

昨年青森地裁は、恣意的な指名外しに対して3020万円の罰金の判決を出しました。平野議員は「税金で罰金などんでもない。こんな裁判はすぐやめるべき、裁判に負けたら浜田市長は重大な責任を取るべきだ」と追及しました。

昨年までの耐震補強工事は、今回排除された次の業者が施工しましたが、何も問題はありませんでした。

- 【H21】中部中（長幸建設）、境川小（幸建設）
- 【H22】朝日中（長幸建設）、緑ヶ丘小（幸建設）、西小（後藤工務店）

来年度も耐震補強工事が予定されています。今年度と同じように、4社を排除した入札をするのでしょうか。

来年度の介護保険料は大幅値上げか

平野市議が「保険料の減免対象を広げるべき」と要求

国の負担増が必要

来年度から介護保険制度の第5期（3年間）が始まり、保険料の大幅値上げが予定されています。市民の負担軽減のためには、国の負担を増やすことがどうしても必要で、党としても国への働きかけを強めます。同時に、低所得者の滞納者が増えており、市独自の保険料減免制度の改善が求められています。（左の表をご覧ください。）

普通徴収の高齢者の滞納率

【平成12年度】 9.7%

【平成22年度】 21.1%

※「普通徴収」とは、年金からの天引きではなく、納付書により納入することです。

ワクチン無料接種 妊婦健診へ助成継続

子宮頸がん・ヒブワクチン・小児用肺炎球菌のワクチン接種の無料化と妊婦健診の助成は2012年3月までの予定でした。この継続と高齢者の肺炎球菌ワクチンへの助成を求め、日本共産党は市議会でも意見書の提出などがんばっています。10月には、これら多くの問題で国の見解を聞くため東京し、厚労省・文科省など各省庁と話し合いました。こうした全国的



国会議事堂をバックに平野・えんど市議（2011/10/20）



部活動のバスの安全を

「相次ぐ高校野球のバスの死亡事故を受け、プロの運転手に委託するための県の補助制度ができたが、別府商業高校でもそのような制度を」と、えんど久子市議は求めました。

別商事務長は「県の制度に順じた形で実施できるよう協議したい」と答弁しました。えんど市議は来年度からの実施を求めました。

えんど久子のホームページ「はっぴーえんどどっとねっと」をぜひご覧下さい。「えんど久子」で検索すれば見られます。

